

2026年（令和8年）3月26日

第6次福山市上下水道事業経営審議会（第1回）

次期

「福山市上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）」
及び「前期実施計画」の検討

◆ 諮問の背景

諮問

次期『福山市上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）』及び『前期実施計画』の策定について

2026年度末が
現行計画の最終年度

上下水道局が所管する4事業を対象とする、2027年度以降の経営の基本計画と実施計画（前期）を策定する必要がある。

【厳しい経営環境】

- ・ 収益の減少
（人口減少等による水需要の低迷）
- ・ 建設投資や維持管理費の増大
（物価や電気料金等の高騰）

【様々な課題への対応】

- ・ 健全経営の維持
- ・ 施設の強靱化
- ・ 危機管理体制の強化
- ・ 人材確保・育成 など

【使命】

将来にわたって
安心・安全な
上下水道サービスを
提供し続ける



- ◆ 上下水道事業は“市民生活や社会経済活動に欠くことのできないライフライン”。
- ◆ 上下水道局の**使命の実現**に向けた中長期的な計画の策定に当たり、様々な立場の方々からの**幅広い意見をいただく**ため、審議会に諮問することとしたもの。

(※) 本資料の「上下水道事業」とは、福山市上下水道局で所管する水道事業・工業用水道事業・下水道事業・集落排水事業の4事業の総称として使用しています。

本日のポイント

- 現行ビジョンの位置付けと概要
- 次期計画（ビジョン、実施計画）
策定の視点を検討

目次

- 1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び
経営戦略の位置づけ
- 2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要
- 3 【次期】計画（ビジョン、実施計画）策定のポイント
- 4 事業を取り巻く環境
 - (1) 前回のビジョン見直し（2022年3月）以降の国の動向
 - (2) 福山市の総合計画等の基本方針
 - (3) 経営審議会での意見等
- 5 今後のスケジュール

- 1 **【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び
経営戦略の位置づけ**
- 2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要
- 3 【次期】計画（ビジョン、実施計画）策定のポイント
- 4 事業を取り巻く環境
 - (1) 前回のビジョン見直し（2022年3月）以降の国の動向
 - (2) 福山市の総合計画等の基本方針
 - (3) 経営審議会での意見等
- 5 今後のスケジュール

1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び経営戦略の位置づけ

ビジョンの必要性

- ▶ 国の方針に基づき、事業者は「**ビジョン**」と「**経営戦略**」を策定する必要がある。
- ▶ 本市の上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）はそれらを**一体化**したもの。

国交省：新水道ビジョン

2013.3月策定
(詳細はP7)

水道事業者は新水道ビジョンを踏まえ、
自らも**ビジョン**を定めたうえで、
その実現に向けた**積極的な取組**が求められる。

国交省：新下水道ビジョン

2014.7月策定
(詳細はP7)

取組を精査

新下水道ビジョン加速戦略

2023.3月改定

※工業用水道事業・集落排水事業については、
全国統一的なビジョン策定は制度化されていない。

総務省：経営戦略の策定要請

2014.8月～
(詳細はP9)

公営企業として事業を継続していく場合には、
「**経営戦略**」の策定が求められる。

一体化

福山市上下水道事業中長期ビジョン (経営戦略)

2017.2月策定
2022.3月改定

- ・めざす将来像、基本方針
- ・経営戦略の中心となる「投資・財政計画」

ふしやちゆうや
「**不舍晝夜**」

(阿武初代福山市長)

昼も夜も断水がなく、
上水道建設の苦労や喜び、
福山の永遠の発展、
市民が幸福に暮らすことへの思い

基本理念として受け継ぐ

安心・安全な水を安定的に供給するとともに、
快適で衛生的な生活環境を確保する。

1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び経営戦略の位置づけ

国のビジョンとの対比

国交省：新水道ビジョン

「地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道」

国交省：新下水道ビジョン

使命：持続的発展が可能な社会の構築に貢献

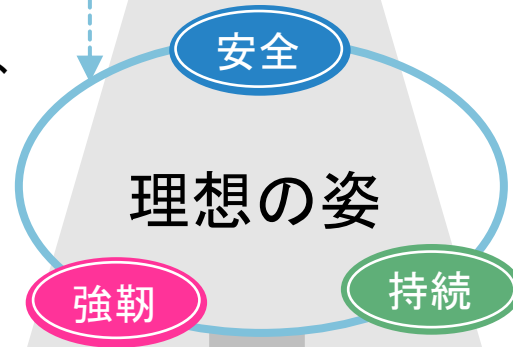
福山市上下水道事業中長期ビジョン (経営戦略) 10年計画

「質の高い上下水道サービスを提供し続け、心の豊かさが実感できるまちの実現に貢献する」

基本理念

時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでもどこでも誰でも、合理的な対価をもって持続的に受け取ることが可能な水道

【方向性：「循環のみち下水道」の成熟化】



将来にわたって**持続可能**な事業経営を行い、市民に信頼される**安心・安全**で**しなやかな**上下水道事業を目指す。

実現に向けた

- ・ **関係者の内部方策**
 - ・ **関係者間の連携方策**
 - ・ **新たな発想で取り組むべき方策**
- に「連携」と「挑戦」をもって取り組む

- ・ 適切なマネジメントによる**持続**
- ・ 分野や地域を越えて社会への貢献範囲を拡大する**進化**

重点的な
実現方策

基本方針
(詳細はP12)

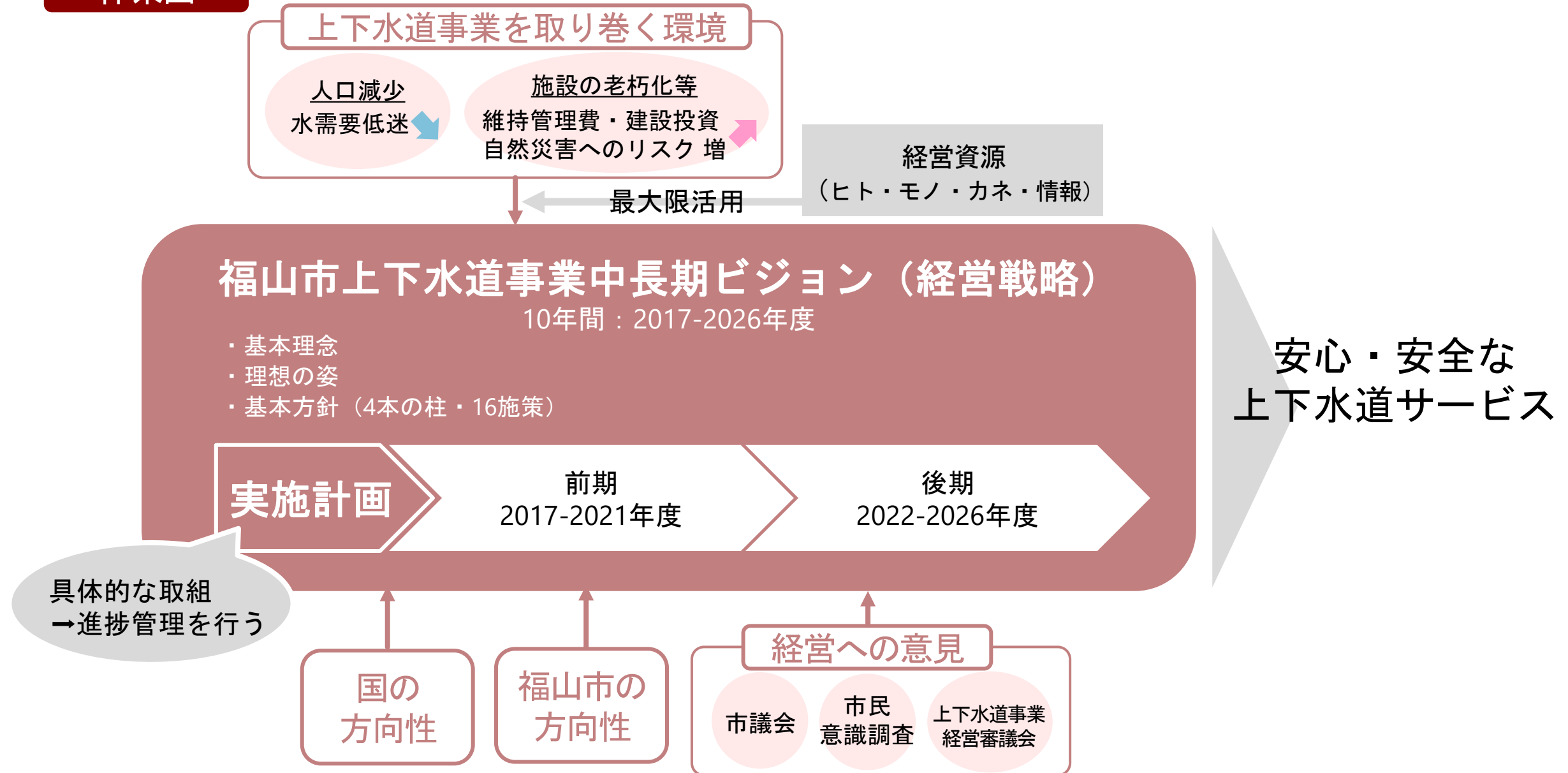
- ・ 基本方針（4本の柱）
- ・ 16の施策：38の取組項目

実施計画（前期・後期）

- ・ 具体的な実施事業

1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び経営戦略の位置づけ

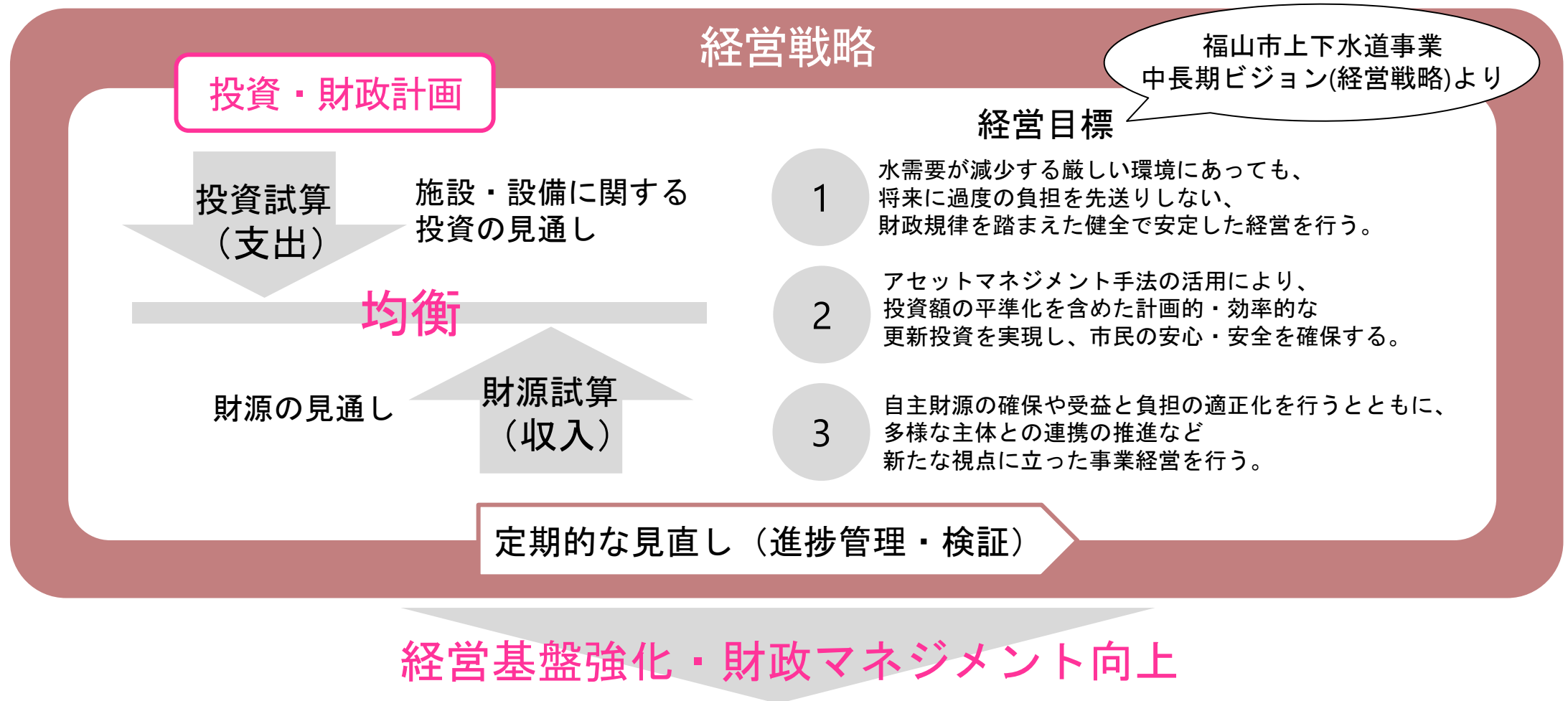
体系図



1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び経営戦略の位置づけ

「投資・財政計画」について

- ▶ 経営戦略の主たる収支計画である「投資・財政計画」を策定・検証することで、経営基盤強化と財政マネジメント向上につなげる



- 1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び
経営戦略の位置づけ
- 2 **【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要**
- 3 【次期】計画（ビジョン、実施計画）策定のポイント
- 4 事業を取り巻く環境
 - (1) 前回のビジョン見直し（2022年3月）以降の国の動向
 - (2) 福山市の総合計画等の基本方針
 - (3) 経営審議会での意見等
- 5 今後のスケジュール

2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要

策定・見直しの流れ

3~5年毎に見直し要請(2025年度まで)
※財政見通しの質の強化含む



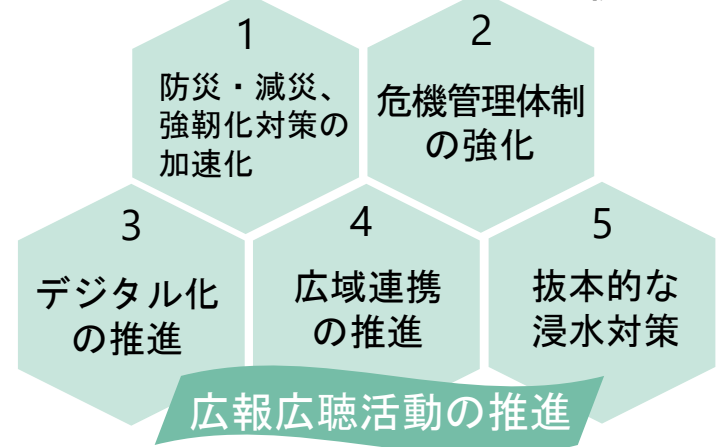
策定のポイント

- ▶ 実効性を高めるため、上下水道一体の計画を策定
- ・ **基本方針（4本の柱）**
 (基本理念・理想の姿の実現に向け)
- ・ 「ヒト.モノ.カネ.情報」を最大限活用
- ・ 事業の検証結果を分かりやすく公表
- ・ 市民意見を経営に反映

見直しのポイント

- 背景**
- ・ 平成30年7月豪雨
 - ・ 新型コロナウイルス感染症等
 - ・ 投資・財政計画と決算額との乖離
- ▶ **急速に変化する社会環境に対応できる計画に見直し**
- ・ 前期実施計画の検証
 - ・ **乖離原因**の分析
 - ・ **精度の高い**収支見通しの作成

取組の基底となる5つの視点



2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要

ビジョン（経営戦略）

- 「基本方針（4本の柱）」
「16の施策→38の取組項目」

実現に向け

実施計画

- 年次計画や**具体的な取組・目標**を設定し、進捗管理しながら事業実施。

後期実施計画では
計76の実施事業を設定

柱1

安心・安全でしなやかな上下水道

- 施策 (1) 水質の安全性・信頼性の確保
(2) 計画的・効率的な施設整備
(3) 地震等の災害に強い管路や施設の整備
(4) 危機管理体制の確立
→ 15の取組項目

35の実施事業

柱3

市民に信頼される身近な上下水道

- 施策 (1) 広報広聴活動の推進
(2) 市民満足度の向上
(3) 多様な意見を事業経営に反映
→ 4の取組項目

6の実施事業

柱2

環境にやさしい上下水道

- 施策 (1) 循環型社会の構築
(2) 省エネルギー対策の推進
(3) 公共用水域（芦田川等）の水質保全
→ 6の取組項目

11の実施事業

柱4

将来にわたって持続可能な上下水道

- 施策 (1) 経営の効率化及び財務体質の強化
(2) アセットマネジメント(資産管理)の実践
(3) 上下水道施設の規模最適化
(4) 職員の人材育成・技術継承
(5) 多様な主体との連携の推進
(6) 新たな視点に立った事業運営
→ 13の取組項目

24の実施事業

2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要

主要指標の達成状況 ※第5次経営審議会(第4回)資料3 P2より

水道事業

工業用水道事業

| 会計区分 | 主要指標 | | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 判断の基準 |
|---------|--------------------------|----|---------------|---------------|---------------|--------|--------|--------|
| 水道事業 | I - 1 料金回収率 | 目標 | 100%以上 | 100%以上 | 100%以上 | 100%以上 | 100%以上 | 高い方が良い |
| | | 実績 | 104.7% | 106.6% | 104.7% | 達成 | - | |
| | I - 2 基幹管路の耐震化率 | 目標 | 75.1% | 76.1% | 76.6% | 77.2% | 77.6% | 高い方が良い |
| | | 実績 | 74.8% | 75.7% | 76.4% | 未達成 | - | |
| | I - 3 浄水施設の耐震化率 | 目標 | 44.4% | 45.1% | 45.1% | 45.1% | 45.9% | 高い方が良い |
| | | 実績 | 44.4% | 44.4% | 45.1% | 達成 | - | |
| | I - 4 配水池の耐震化率 | 目標 | 65.7% | 65.8% | 67.7% | 68.5% | 69.0% | 高い方が良い |
| | | 実績 | 65.8% | 66.6% | 68.4% | 達成 | - | |
| | I - 5 有収率 | 目標 | 95.4% | 95.6% | 95.7% | 95.9% | 96.0% | 高い方が良い |
| | | 実績 | 94.9% | 94.4% | 95.2% | 未達成 | - | |
| | I - 6 給水人口一人当たり企業債現在高 | 目標 | 7.5万円 | 7.3万円 | 7.2万円 | 7.1万円 | 6.9万円 | 低い方が良い |
| | | 実績 | 7.4万円 | 7.3万円 | 7.2万円 | 達成 | - | |
| 工業用水道事業 | II - 1 料金回収率 | 目標 | 100%以上 | 100%以上 | 100%以上 | 100%以上 | 100%以上 | 高い方が良い |
| | | 実績 | 115.5% | 120.8% | 119.6% | 達成 | - | |

2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要

主要指標の達成状況

※第5次経営審議会(第4回)資料3 P5より

下水道事業

| 会計区分 | 主要指標 | | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 判断の基準 |
|-------|---------------------------|----|---------------|---------------|---------------|--------|--------|--------|
| 下水道事業 | Ⅲ-1 公共下水道人口普及率 | 目標 | 76.0% | 76.4% | 76.8% | 77.1% | 77.4% | 高い方が良い |
| | | 実績 | 76.3% | 76.3% | 76.9% | 達成 | - | |
| | Ⅲ-2 水洗化率 | 目標 | 95.2% | 95.4% | 95.6% | 95.7% | 95.8% | 高い方が良い |
| | | 実績 | 95.5% | 95.7% | 95.8% | 達成 | - | |
| | Ⅲ-3 都市浸水対策達成率 | 目標 | 55.3% | 55.3% | 55.3% | 57.9% | 57.9% | 高い方が良い |
| | | 実績 | 55.3% | 55.3% | 55.3% | 達成 | - | |
| | Ⅲ-4 経費回収率 | 目標 | 100%以上 | 100%以上 | 100%以上 | 100%以上 | 100%以上 | 高い方が良い |
| | | 実績 | 112.8% | 115.9% | 113.7% | 達成 | - | |
| | Ⅲ-5 重要幹線等の耐震化率 | 目標 | 49.9% | 51.2% | 51.9% | 52.1% | 52.4% | 高い方が良い |
| | | 実績 | 49.8% | 50.5% | 52.0% | 達成 | - | |
| | Ⅲ-6 処理区域内人口一人当たり企業債現在高 | 目標 | 22.3万円 | 22.6万円 | 23.1万円 | 23.8万円 | 24.1万円 | 低い方が良い |
| | | 実績 | 21.7万円 | 21.9万円 | 22.0万円 | 達成 | - | |

- 3事業いずれも、取組は概ね順調に進んでいる。

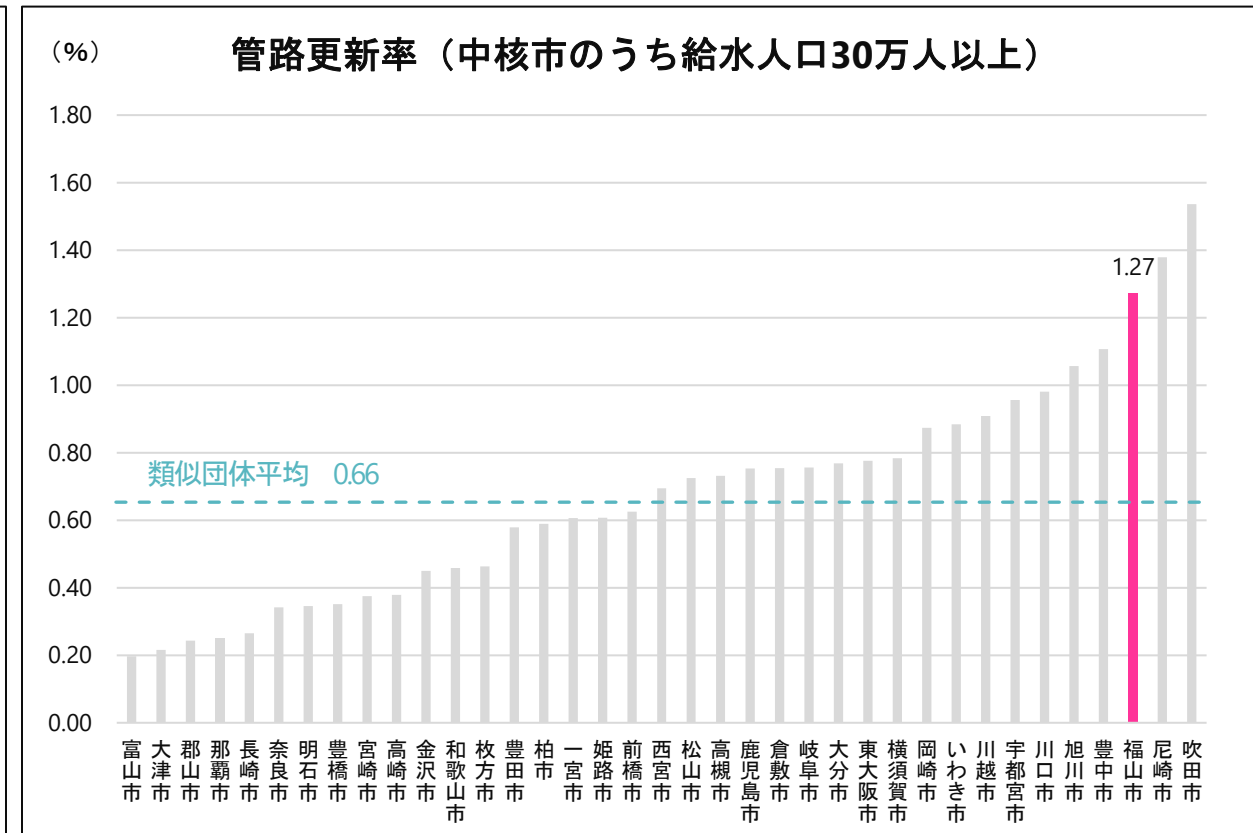
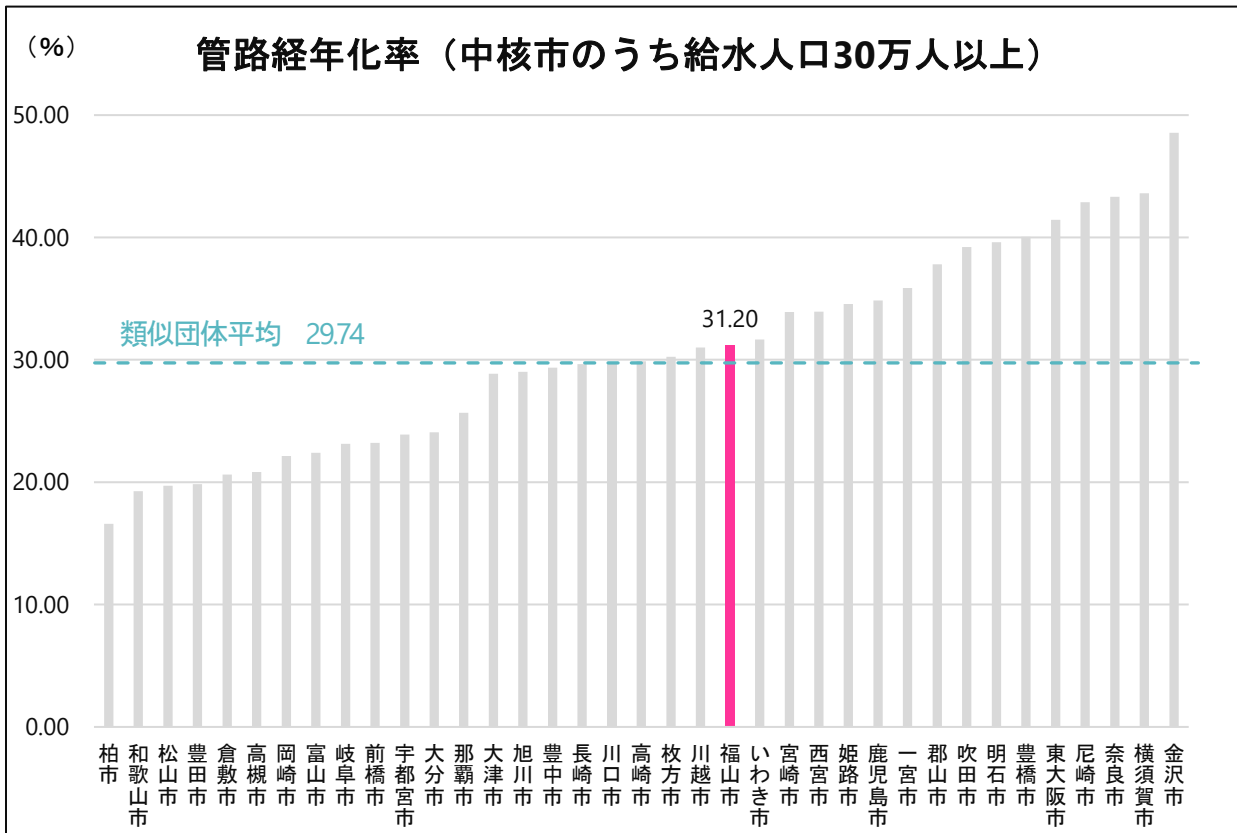
2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要

中核市57市(企業団等を除く)中、
37市

水道事業

類似団体...中核市のうち、給水区域内人口30万人以上の団体

※総務省基準で作成する「経営比較分析表」（経営及び施設の状況を表す経営指標を、経年比較や他団体比較しまとめたもの）の類似団体定義を参照



- 本市の管路経年化率は類似団体平均と同程度となっている。

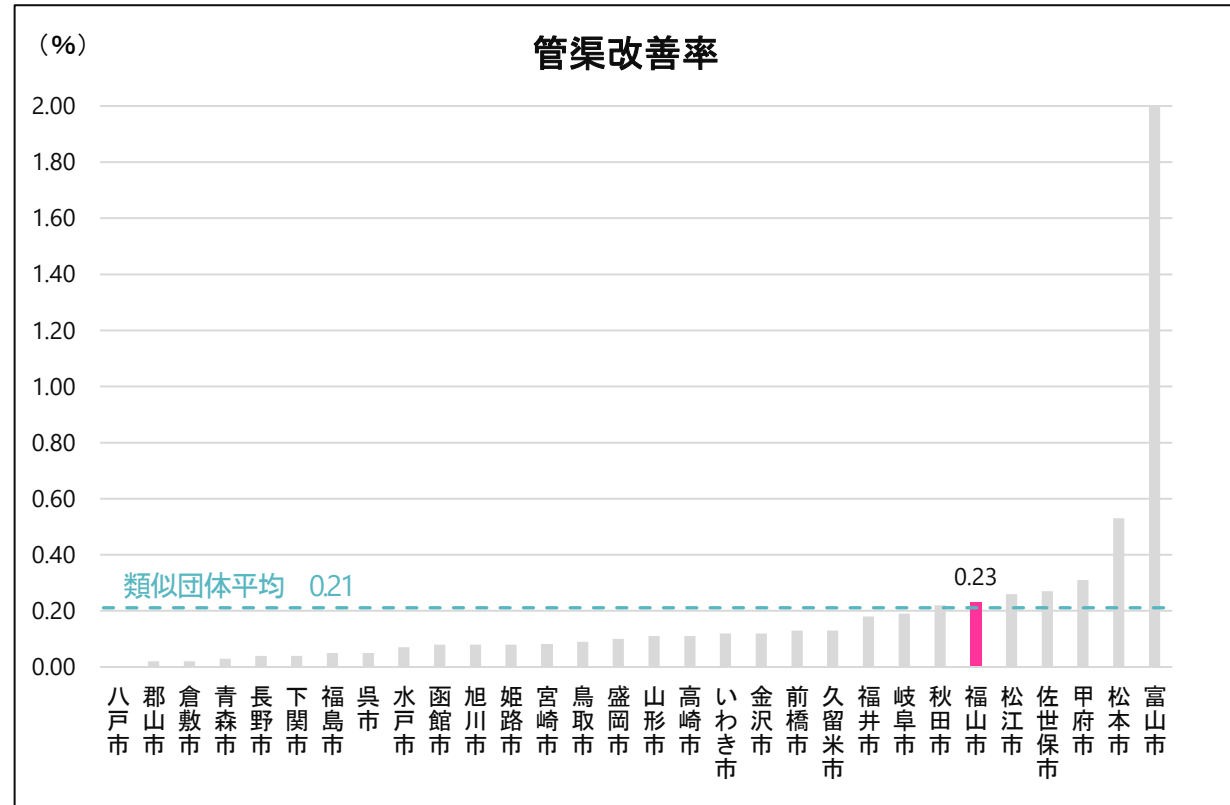
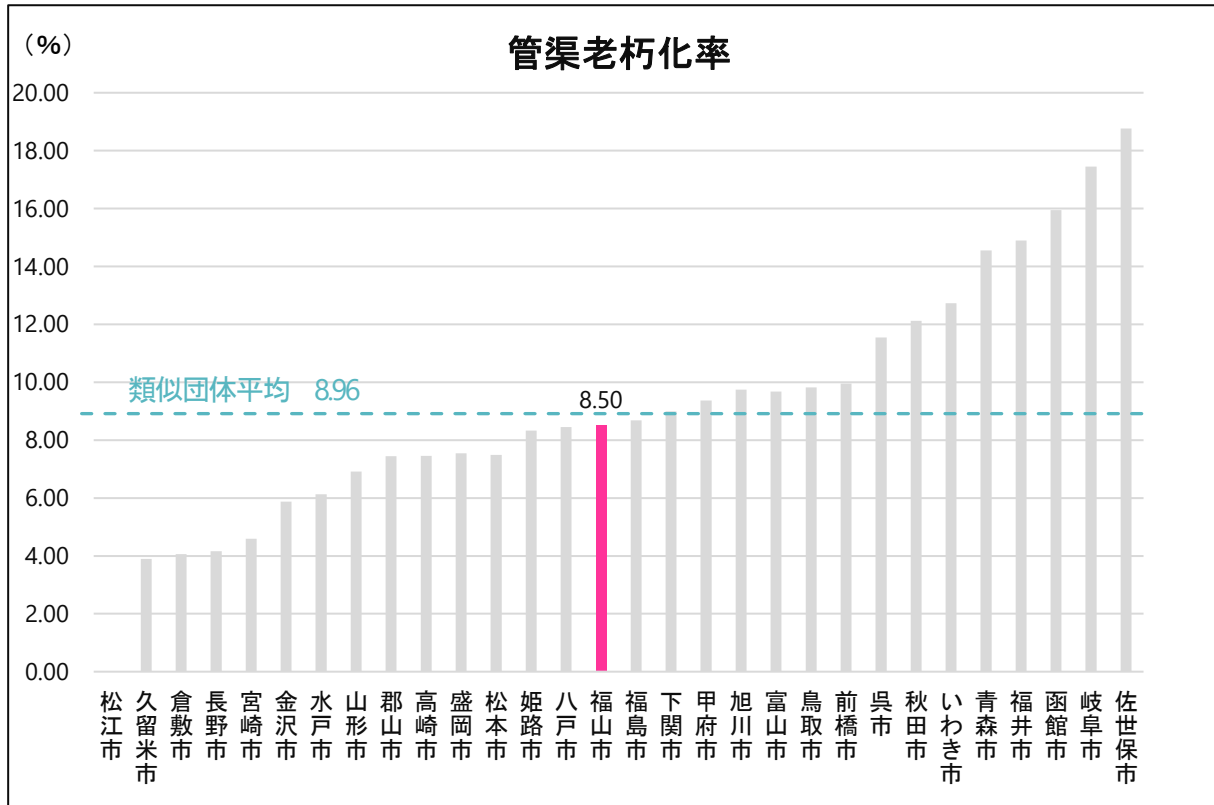
- 管路経年化を極力進行させない更新に取り組む中、本市の管路更新率は類似団体平均より高い水準となっている。

2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要

中核市62市中、
30市

下水道事業

類似団体... 中核市のうち、処理区域内人口10万人以上+処理区域内人口密度区分50人/ha未満の団体
※経営比較分析表の類似団体定義を参照



- 本市の管渠老朽化率は類似団体平均と同程度となっている。

- 本市の管渠改善率は類似団体平均と同程度となっている。（富山市を除いた場合、類似団体平均は0.12%）

- 1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び
経営戦略の位置づけ
- 2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要
- 3 **【次期】計画（ビジョン、実施計画）策定のポイント**
- 4 事業を取り巻く環境
 - (1) 前回のビジョン見直し（2022年3月）以降の国の動向
 - (2) 福山市の総合計画等の基本方針
 - (3) 経営審議会での意見等
- 5 今後のスケジュール

3 【次期】計画（ビジョン、実施計画）策定のポイント

- ・ 10年間の中長期的な展望のもと、一貫した経営方針を軸に据えた計画を策定する。
- ・ 限られた経営資源の中で重点的かつ優先的に取り組むべき事項を検討する。

国等の方針

(詳細はP20-24)

- ・ 国の上下水道政策
- ・ 市の総合計画等の基本方針

投資・財政計画

※第2回以降の審議

- ・ 最新の財政推計を反映
- ・ 施設整備水準と財政規律のバランス
- ・ 実施計画との整合



より一層の市民サービスの
維持・向上に向けた、
新たな視点や方向性、手法

意見を反映

主な 検討事項

- ▶ 新たな「基本理念・理想の姿・基本方針」
- ▶ 実施事業（実施計画）の見直し
- ▶ 分かりやすい構成・デザイン

- 1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び
経営戦略の位置づけ
- 2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要
- 3 【次期】計画（ビジョン、実施計画）策定のポイント
- 4 **事業を取り巻く環境**
 - (1) **前回のビジョン見直し（2022年3月）以降の国の動向**
 - (2) 福山市の総合計画等の基本方針
 - (3) 経営審議会での意見等
- 5 今後のスケジュール

4 事業を取り巻く環境 (1)前回のビジョン見直し (2022年3月) 以降の国の動向

持続・強靱化

上下水道政策の基本的なあり方検討会 (国土交通省) 2024.11月設置

背景：上下水道を取り巻く環境の変化
趣旨：2050年の社会経済情勢を見据えた、
強靱で持続的かつ多様な社会的要請に応える
上下水道システムへ進化するための方向性

第1次とりまとめ

【基盤強化に向けた取組】

- ・ 経営広域化への加速
- ・ 適切な更新投資、負担を先送りしない経営
- ・ 官民共創による上下水道の一体的な再構築

第2次とりまとめ

【次世代に守り継ぐための取組】

- ・ 複数自治体による事業運営の一体化
- ・ 集約型・分散型のベストミックスによる施設の最適配置
- ・ 上下水道を将来に繋ぐための人材確保・育成
- ・ 老朽化対策を着実に進める経営の実現

詳細はP21
「広域化・広域連携」

第1次国土強靱化実施中期計画 (内閣官房) 2025.6月閣議決定 2026-2030年度

背景：激甚化・頻発化する大規模自然災害等
趣旨：国土強靱化施策の加速化・深化を図るための
実施計画

上下水道事業関連

【施設の戦略的維持管理・更新】

- ・ 事故発生等を未然に防止する

【施設の耐災害性強化】

- ・ 上下水道施設を一体的に耐震化し、
災害時も安全な水供給、下水の処理機能を確保
- ・ 工業用水の安定供給、集落排水機能の維持

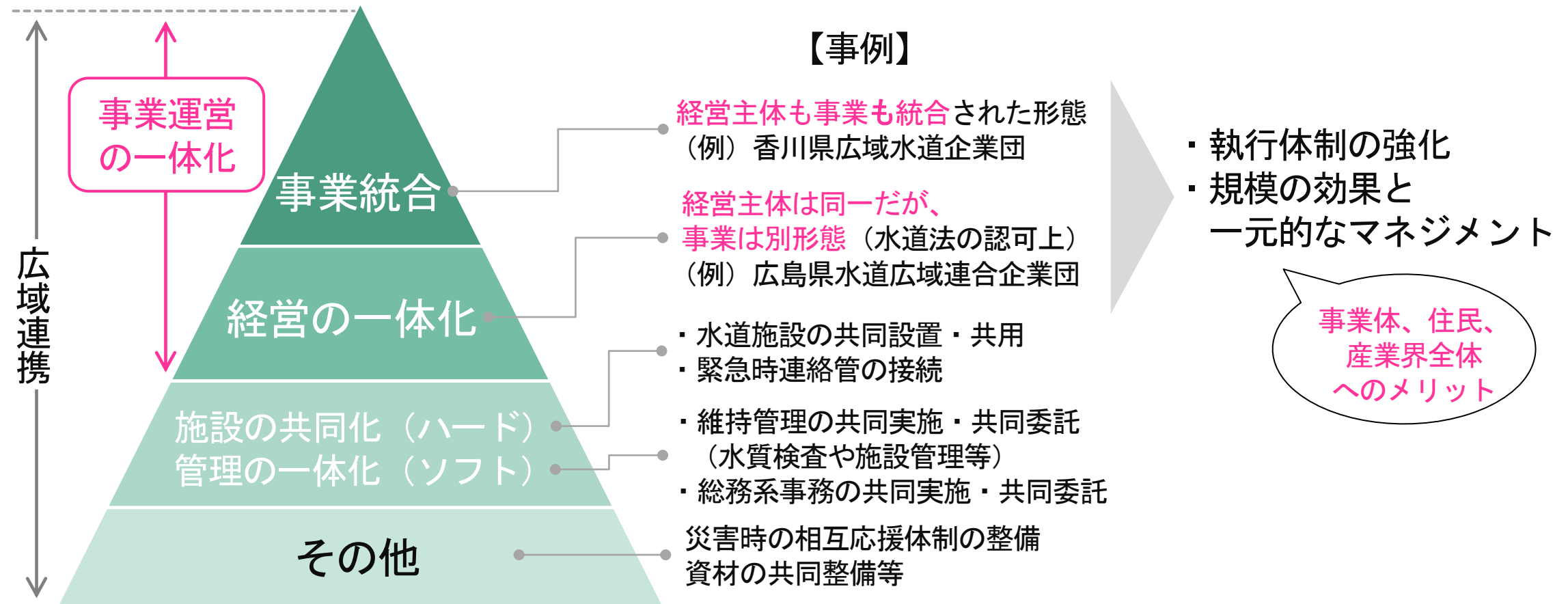
【流域治水対策（下水道）】

- ・ 流域全体の取組を幅広い関係者と協働することで、
気候変動に伴い激甚化・頻発化する災害に対応
(河道掘削やダムの事前放流、雨水排水施設の整備等)

4 事業を取り巻く環境 (1)前回のビジョン見直し(2022年3月)以降の国の動向

広域化・広域連携

- ・ 国：今後「複数自治体による事業運営の一体化」など広域連携を更に推進する。
- ・ 福山市：経営基盤や危機管理体制強化のため『5つの視点(4)広域連携の推進』に取り組んできた。
→様々な手法で広域連携に取り組み、経営基盤を強化する必要がある。

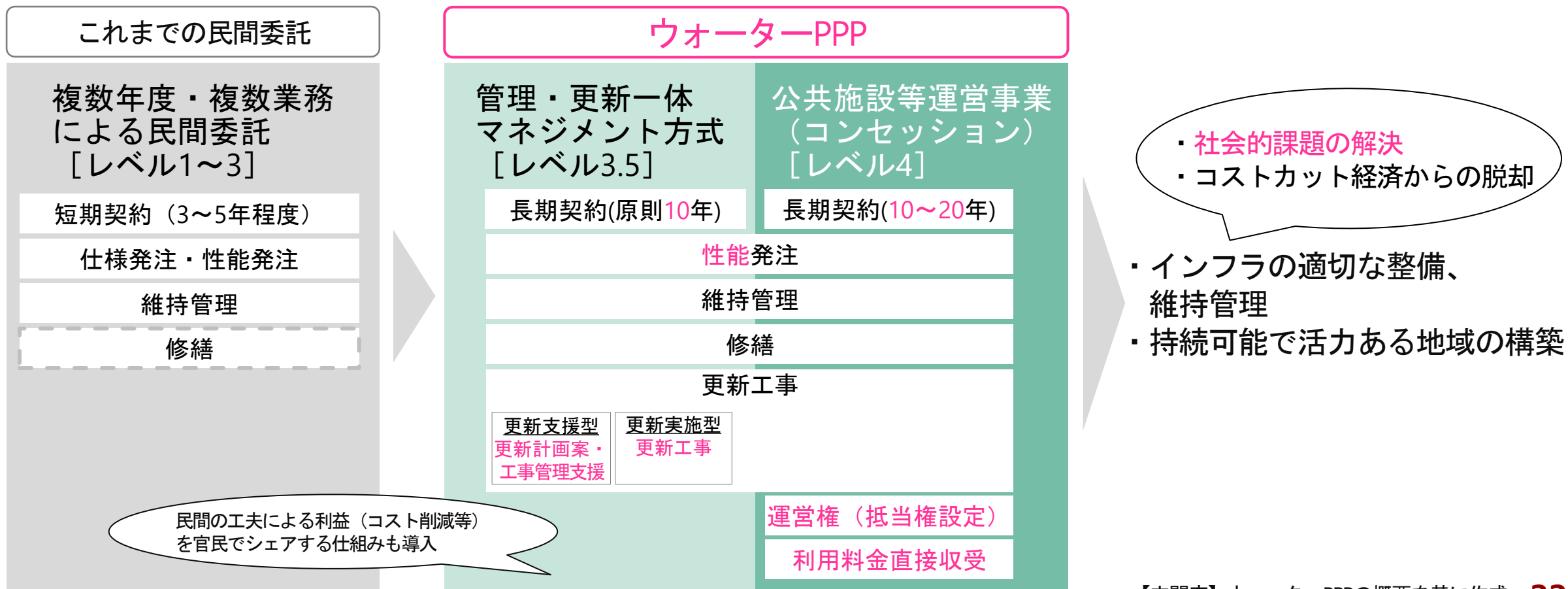


4 事業を取り巻く環境 (1)前回のビジョン見直し(2022年3月)以降の国の動向

官民連携(PPP/PFI)

(※)内閣府「PPP/PFI推進アクションプラン」(令和5年改定版)

- 国：令和9年度以降の下水道事業ではウォーターPPP導入が国の補助要件となる(※)など、積極的な官民連携を求めている。
- 福山市：安定的なサービス提供のため『多様な主体との連携の推進』として官民連携に取り組んできた。
→更なる民間活力の活用を検討し、将来にわたって持続可能な事業経営を行う必要がある。



4 事業を取り巻く環境 (1)前回のビジョン見直し (2022年3月) 以降の国の動向

デジタル化の推進

- 国：データ・情報・知識等の資源をデジタル技術により活用する「上下水道DX」を推進。
- 福山市：利便性向上や事務効率化のため『5つの視点(3)デジタル化の推進』に取り組んできた。
→引き続きデジタル技術を積極的に活用し、経営基盤強化や効率化を実現する必要がある。

現状・課題

施設の老朽化の進行

現場の担い手の減少

経営状況の悪化

激甚化・頻発化する自然災害

上下水道事業におけるDX推進

1 業務の共通化

DX技術の導入事例の分析・共通化・横展開
→技術の導入加速化
効率的な事業運営

2 情報整備・管理の標準化

維持管理情報の電子化
→災害対応や広域連携における活用

3 DX技術の普及促進

上下水道DX技術カタログ(国土交通省作成)の活用
→技術の導入促進
効率的な事業運営

4 現状可視化

経営状況等の見える化
→DX技術導入による経営改善の取組の促進

将来にわたり上下水道サービスを提供し続ける

- ・現場の生産性向上
- ・業務や働き方を**変革**

4 事業を取り巻く環境や意見 (1)前回のビジョン見直し(2022年3月)以降の国の動向

環境への配慮

環境・エネルギー対策 (GX)

- ・ 国：2030年度 温室効果ガス46%削減、2050年カーボンニュートラルの実現をめざす。
- ・ 福山市：再生可能エネルギー活用等を進めてきた。
→多大な電力を使用する上下水道事業は、**さらなる脱炭素化を進める必要がある。**

※GX(グリーン・トランスフォーメーション)：脱炭素に向けたクリーンエネルギーへの転換に向けた取組。

水循環基本計画

(2024.8月改定版)

【地球温暖化対策の推進】

- ・ **流域一体**でのカーボンニュートラルの推進
- ・ **施設配置の最適化**による省エネルギー化
- ・ **気候変動の影響**(水不足など)に適応する取組

新下水道ビジョン加速戦略

(2023.3月改定)

- ・ 現状やポテンシャルを**見える化**し、**改定時に追加された重点項目**を推進
- ・ 地域の水環境や生態系を考慮した水環境の管理

有機フッ素化合物 (PFAS) への対応

- ・ 国：2026年度から**PFOS・PFOAが水質基準**に追加。
- ・ 福山市：全浄水場で暫定目標値を下回っている。
→今後も継続的な検査を行い、安心安全な水道水の安定供給に努めていく必要がある。

※PFAS:1万種類以上ある化合物の総称。有害性を指摘されているPFOSとPFOAを含む。

【経過】

- ・ 2020年に、PFOS・PFOAが水質検査義務の課されない「水質管理目標設定項目」として位置づけ
- ・ 2026年4月から「水質基準」に格上げ(3か月に1回検査)

【本市の状況】

2022年度以降の検査では、すべての浄水場においていずれも暫定目標値を下回っている。

- 1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び
経営戦略の位置づけ
- 2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要
- 3 【次期】計画（ビジョン、実施計画）策定のポイント
- 4 **事業を取り巻く環境**
 - (1) 前回のビジョン見直し（2022年3月）以降の国の動向
 - (2) **福山市の総合計画等の基本方針**
 - (3) 経営審議会での意見等
- 5 今後のスケジュール

4 事業を取り巻く環境 (2)福山市の総合計画等の基本方針

福山みらい創造ビジョン(案)

2026-2030年度

- 福山市政を総合的かつ計画的に進めるための指針

めざす姿

「希望、安心、活力ある備後の中核都市」

重点プロジェクト

- 福山版少子化対策の推進
- 若者や女性に選ばれる都市づくり

少子化と若者・女性の転出超過に歯止めをかける

上下水道事業関連

各分野の取組：安心・安全
→老朽化対策・災害対策の強化
(管路・施設、主力浄水場など)

福山市強靱化地域計画

2021-2025年度(※)

- 「強靱な地域づくり」を推進するための指針

致命的な被害を負わない「強さ」
速やかに回復する「しなやかさ」を備える

基本目標

- 人命の保護が最大限図られる
- 市、社会の重要な機能が維持される
- 市民の財産、公共施設の被害の最小化
- 迅速な復旧

上下水道事業関連

長期にわたる供給停止や機能不全を回避
→耐震化、長寿命化、浸水対策 など

(※)2025年10月公表の新たな広島県地震被害想定を計画に反映するため、2026年度に改定予定

4 事業を取り巻く環境 (2)福山市の総合計画等の基本方針

都市マスタープラン（案）

2026年度(改定予定)

- ・都市全体の具体的な将来像と整備方針（指針）を明らかにしたもの

都市づくりの基本理念

「暮らしに安心、地域経済に活力、街に賑わい、強みを生かした未来につなげる都市づくり」

めざす都市を実現するための3つの柱

- ・生活基盤の整備→定住促進
- ・産業基盤の整備→雇用創出
- ・集い・交流による賑わい創出→都市の活力

上下水道事業関連

生活インフラの整備・維持管理

- ・計画的・効率的な施設整備
- ・地震等の災害に強い管路や施設の整備

浸水対策強化実施計画（案）

2026-2030年度

- ・平成30年7月豪雨の対策に新たな取組を加えた強化計画

整備目標

- ・床上浸水被害の解消
 - ①平成30年7月豪雨レベル想定
 - ②ゲリラ豪雨レベル想定
- ・経年劣化した施設能力の回復

上下水道事業関連

浸水被害の軽減

- ・ポンプ場、貯留施設の整備
- ・雨水管渠の整備

- 1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び
経営戦略の位置づけ
- 2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要
- 3 【次期】計画（ビジョン、実施計画）策定のポイント
- 4 **事業を取り巻く環境**
 - (1) 前回のビジョン見直し（2022年3月）以降の国の動向
 - (2) 福山市の総合計画等の基本方針
 - (3) 経営審議会での意見等**
- 5 今後のスケジュール

4 事業を取り巻く環境 (3)経営審議会での意見等

ビジョン見直し以降にいただいた意見や検討事項

| 項目 | 第4次審議会 | 第5次審議会 |
|----------|---|--|
| 全体 | <ul style="list-style-type: none">各取組とSDGsのつながりを分かりやすく整理 | <ul style="list-style-type: none">福山市のめざす方向性との整合を図る事業に対する市民理解の醸成 |
| 企業債、財政規律 | <ul style="list-style-type: none">下水道事業における企業債償還額の見通しの提示 | <ul style="list-style-type: none">将来世代の負担を考慮した企業債の適切な活用健全経営のための財政規律の堅持 |
| 施設整備 | <ul style="list-style-type: none">AIを活用した水道管路の劣化予測診断の検証結果の提示 | <ul style="list-style-type: none">安心とコストのバランス（整備水準）を検討<ul style="list-style-type: none">-施設のダウンサイジングや集約-耐震化率や管路更新率等の目標設定優先順位を付けた施設整備 |
| 経営 | <ul style="list-style-type: none">経営状態を適切に評価できる指標を検討他事業体との経営比較や事例の提示 | <ul style="list-style-type: none">費用対効果の向上に向けたデジタル化の推進適正な料金体系や料金水準を定期的に検証 |

- 1 【現行】福山市上下水道事業中長期ビジョン及び
経営戦略の位置づけ
- 2 【現行】ビジョン（経営戦略）及び実施計画の概要
- 3 【次期】計画（ビジョン、実施計画）策定のポイント
- 4 事業を取り巻く環境
 - (1) 前回のビジョン見直し（2022年3月）以降の国の動向
 - (2) 福山市の総合計画等の基本方針
 - (3) 経営審議会での意見等
- 5 **今後のスケジュール**

5 今後のスケジュール

審議内容

上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）及び前期実施計画の検討

| | 開催時期 | | 主な議題（予定） |
|-----|-------------|-------------------------|--|
| 審議会 | 第1回 （今回） | 2026年（令和8年） 3月26日（木） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問 ・ ビジョン等の位置付け、ビジョン等策定のポイント |
| | 第2回 | 2026年（令和8年） 7月上旬 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の施設整備及び投資・財政計画の考え方 ・ ビジョン骨子（案）の検討 |
| | 第3回 | 2026年（令和8年） 9月下旬 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョン（案）の検討 ・ 投資・財政計画（案）の検討 |
| | 第4回 | 2026年（令和8年） 10月下旬 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画（案）の検討 ・ ビジョン（案）及び投資・財政計画（案）の確認 |
| | 第5回 | 2026年（令和8年） 12月上旬 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画（案）の確認 ・ 答申（案）の検討・確認 |
| 手続き | | 2027年（令和9年）1月 | パブリックコメントを実施 |
| | | 2027年（令和9年）3月 | 完成、公表 |

※審議の状況により、部会の開催について判断する。また、審議会の開催回数・内容は変更になる場合がある。